

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：有限会社 エフワイエル	所在地：390-0867 長野県松本市蟻ヶ崎台 24-3
評価実施期間： 令和元年4月9日から令和元年11月20日 *契約日から評価結果報告会日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050512 061163 B25109	

2 福祉サービス事業者情報（令和元年6月現在）

事業所名：辰野町小野保育園	種別：保育所
代表者氏名：管理者 武居 保男 園長 有賀 美智代	定員（利用者数）：50名（23名）
設置主体：辰野町 経営主体：辰野町	開設年月日：昭和34年4月1日
所在地：〒399-0601 長野県上伊那郡辰野町小野 1946	
電話番号：0266-46-2132	FAX番号：0266-46-2132
ホームページアドレス： http://www.town.tatsuno.lg.jp/hoikuen.html	
職員数	常勤職員：6名 非常勤職員：3名
職員内訳等	保育士：4名 調理員：2名 常勤職員の平均年齢：39.0歳 平均在職年数：1.3年
施設・設備の概要等	乳児室：1室 遊戯室：1室 便所：2室 ほふく室：1室 保育室：4室 調理室：1室 事務室：1室 屋外遊具：すべり台、ジャングルジム、ブランコ 砂場、鉄棒、雲梯、たいこ橋

3 理念・基本方針

<p style="text-align: center;">～辰野町保育理念～</p> <p style="text-align: center;">子ども一人ひとりを大切に、保護者や地域から信頼される保育園を目指します。</p> <p>～辰野町保育方針～</p> <ul style="list-style-type: none">★安心して預けられる保育園を作ります。★一人ひとりの子どもの発達をとらえ、適切な援助を行います。★保護者ととともに子どもの成長を支援します。★地域に開かれた子育て支援の拠点となるようにしていきます。 <p>～辰野町保育目標～</p> <p>豊かに伸びてゆく可能性をうちに秘めている子どもたちが、辰野町の自然・文化・歴史・社会等の環境のなかで、日々を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことが保育の目標です。</p>

このため保育は、次のような子どもの育成を目指して行います。

- ★健康でいきいきした子ども
- ★情緒が安定し、心が豊かな子ども
- ★仲良く、楽しく遊べる子ども
- ★意欲的に取り組み、創造する子ども
- ★よく見、よく聞き、よく考え行動する子ども
- ★自分のことは、自分でできる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

塩尻市北小野地区、辰野町小野地区にある両保育園と辰野町にある両小野小学校、塩尻市にある両小野中学校はコミュニティ・スクールを基盤とした保小中一貫教育の両小野学園として「地域とともにある」学園づくりを推進している。

その学園の運営協議会は、校長の示す学校運営の基本方針を承認したり、学校・保育園運営に関して意見を述べたり、協議を通して地域住民の声を学校・保育園運営に反映させている。

そして、地域委員会、学園支援委員会、評価委員会、広報委員会の4つが目的を持ち、自主的に活動している。

また、70名ほどの学園支援ボランティアも組織化され、コミュニティ・スクールを支えており、各種活動への参加により子どもの豊かな育ちを支えている。

5 第三者評価の受審状況

初回

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

国のガイドラインに基づき長野県の各サービス分野の評価基準等が改訂され、評価の判断基準も異なってきたので、初めにそのことについて説明いたします。

評価細目（別添1、2）に対する判断基準は以下の通りとなっています。

- a：よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
- b：aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
- c：b以上の取組みとなることを期待する状態

つまり、「ある、ない」や「やっている、やっていない」という外的基準ではなく、やっている事の内容を評価員・評価機関が判断してa・b・cを決定しています。

そのため、当評価機関としてはaの場合は取り組み状況、b・cの場合は取り組み状況と検討課題を記載しています。

そして、各評価細目や利用者調査の内容を長期的、多面的、根本的に考え、事業所の全体像を把握して総評を決定・作成しています。

◇ 特に良いと思う点

- 子どもの豊かな学びと地域との絆

辰野町小野保育園は塩尻市北小野と辰野町小野の住民が一貫して「たのめの里の教育は一つ」という思いから生まれた両小野学園コミュニティスクールの一員である。

保育園就園から中学校卒業までの保・小・中一貫教育の12年間を見通した支援が行われているので、成長とともに子どもも保護者も安心感が徐々に増してくる。

小野保育園と北小野保育園（塩尻市）との合同の遠足や年数回の交流、辰野町の両小野小学校とは児童会まつり、体験給食、プール、スケート場での一緒に遊びもあり交流も盛んである。

塩尻市にある両小野中学では生徒が保育園に来て子どもと交流したり、園児のために手作りでパズルや塗り絵などを制作してくれたり、保・小・中の12年間を一緒に生活体験している。

園内活動とこれらの交流活動で、集団的な遊びや共同的な活動、年上・年下の仲間意識、模倣による心身の成長、そして、なによりも長幼の序の意識も自然と身につけてきている。

また、保・小・中の各職員とも交流や意見交換も盛んで、地域、地域住民も「たのめの里」の一員として後押ししており、組織化されたボランティアの活動も盛んで、多様な大人との豊富な触れ合いが子どもらしい大人像を育てている。

この耐震補強工事により生まれ変わったぴかぴかの園舎は温かみのある明るい造りで、園の周りには自然が豊富にあり、この恵まれた環境の中で子どもたちが伸び伸びと過ごせている。

この自然環境に恵まれた地域とともに育つ園、のどかな田園地帯にある小規模園、そして地域が大事にしている保育園のため、地蔵尊まつりなどの地域行事ではお菓子のおすそわけや、菜の花畑へのお花見の誘い、ワラビ取りやラベンダー摘みなどへの招待もある。

地域の歴史や様々な体験が得られ、園の畑の管理も地域の人の支援も入り、一緒に種まきや収穫などの経験が子どもの心の成長、発達にも結びついている。

この「たのめの里」での12年間で、立派な大人へと末永く続くことが想像できる。

◇ 特に改善する必要があると思う点

○ コミュニティ・スクールゆえの検討課題

各種の取り組みにおいては一般の保育園とあまり変わらない点もあり、コミュニティ・スクールとして、ボランティアだけでなく、独居老人や家にいる祖父母に声をかけ、地域の歴史や環境を教えてもらう語り部として来園する機会を設けたり、独自のしおりを辰野町の入園のしおりに差し込むなど、園の特長を生かしたものを期待したい。

散歩は子どもにとって自然にふれたり人々に接したりと、大切な心や身体の手を育てる事に効果があり、気に入れば親子でも行けるように散歩コースなどの地図を入れて保護者に知らせる事も大事であろう。

栄養士による食育についても、ご当地グルメなど地産地消に務めているだけでなく、保護者に向けての「おいしく食べようニュース」や、日々の給食のサンプルケースでの献立の展示、併せて、子どもの摂取量の掲示や食材の展示、食材かすを利用した不要な段ボール箱での堆肥作りなど、園児だけでなく、保護者や家族へも視点を向けた取り組みなども期待したい。

なお、保育指針の改訂に合わせての十分な研修やマニュアル等の見直しは早急な対応が必要と思われる。

その他については別紙1、2を参照することとして、コミュニティ・スクールを意識した広角の視覚で、子どもを支え育てる関わりを更に豊富にする取り組みを期待したい。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

- ・今まで気がつかなかった、できている所を認めてもらえたことにより、自信につながったところもありました。
- ・辰野町独自の手引書の良い所・大切に気づき、マニュアルの再検討をし、せっかくあるものを自分たちの物として、職員皆が活用していけるよう見直す機会となりました。
- ・利用者のアンケートも良い点は益々伸ばし、改善すべき点は改善策を考えていきたいと思えます。
- ・新しい保育所保育指針に合った、指導計画の見直しをしていきたいと思えます。
- ・これからも園児・保護者の皆さんに信頼される保育園を目指し、質の高い保育の提供ができるようにしていきたいと思えます。
- ・最後に、評価機関の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。